

2 施工管理編 主な改正点 令和6年5月改定

[2]土木工事施工管理基準

土木工事施工管理基準

条	項	工種	改訂内容	備考
修正箇所無				

1. 工程管理 (岡山県独自)

条	項	工種	改訂内容	備考
1	1	対象金額の変更	2ヶ月に1回3,000万円 → 4,500万円	岡山県R5年度改定

2. 出来形管理基準及び規格値 主な改正点

編	章	節	条	工種	改訂内容	備考
全体				摘要欄に編章節条枝番を追加		
3	2	3	28	プレキャストカルバート工	節『3プレキャストカルバート工』を『3共通の工種』に修正	
3	2	4	3	基礎工(護岸)(現場打)	測定基準を修正『護岸工編』の削除	
3	2	4	3	基礎工(護岸)(プレキャスト)	測定基準を修正『護岸工編』の削除	
3	2	4	4	既製杭工(既製コンクリート杭など)	測定基準を修正『3次元化…実施することができ。』を追加	
3	2	4	5	場所打杭工	測定基準を修正『3次元化…実施することができ。』を追加	
3	2	5	3	コンクリートブロック工(コンクリートブロック積など)	測定基準を修正『護岸工編』の削除	
3	2	5	3	コンクリートブロック工(連節ブロック張り)	測定基準を修正『護岸工編』の削除	
3	2	5	3	コンクリートブロック工(天端保護ブロック)	測定基準を修正『護岸工編』の削除	
3	2	5	4	緑化ブロック工	測定基準を修正『護岸工編』の削除	
3	2	5	5	石積(張)工	測定基準を修正『護岸工編』の削除	
3	2	6	7	アスファルト舗装工(下層路盤工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	7	アスファルト舗装工(下層路盤工)(面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	7	アスファルト舗装工(上層路盤工)粒度調整路盤工(面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	7	アスファルト舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	7	アスファルト舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工(面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	7	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	7	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)(面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	7	アスファルト舗装工(基層工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	7	アスファルト舗装工(基層工)(面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	7	アスファルト舗装工(表層工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	7	アスファルト舗装工(表層工)(面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	8	半たわみ性舗装工(下層路盤工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	8	半たわみ性舗装工(下層路盤工)(面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	8	半たわみ性舗装工(上層路盤工)粒度調整路盤工	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	

編	章	節	条	工種	改訂内容	備考
3	2	6	8	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工 (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	8	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント (石灰) 安定処理工	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	8	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント (石灰) 安定処理工 (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	8	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	8	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	8	半たわみ性舗装工 (基層工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	8	半たわみ性舗装工 (基層工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	8	半たわみ性舗装工 (表層工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	8	半たわみ性舗装工 (表層工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	9	排水性舗装工 (下層路盤工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	9	半たわみ性舗装工 (下層路盤工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	9	排水性舗装工 (上層路盤工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	9	排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工 (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	9	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント (石灰) 安定処理工	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	9	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント (石灰) 安定処理工 (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	9	排水性舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	9	排水性舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	9	排水性舗装工 (基層工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	9	排水性舗装工 (基層工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	9	排水性舗装工 (表層工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	9	排水性舗装工 (表層工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	10	透水性舗装工 (路盤工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	10	透水性舗装工 (路盤工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	10	透水性舗装工 (表層工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	10	透水性舗装工 (表層工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	10	透水性舗装工 (フィルター層)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	11	グースアスファルト 舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を実施することができる。』を追加	
3	2	6	11	グースアスファルト 舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	11	グースアスファルト 舗装工 (基層工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を実施することができる。』を追加	
3	2	6	11	グースアスファルト 舗装工 (基層工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術 (面管理の場合)』の削除	
3	2	6	11	グースアスファルト 舗装工 (表層工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を実施することができる。』を追加	

編	章	節	条	工種	改訂内容	備考
3	2	6	11	ゲースアスファルト 舗装工 (表層工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	12	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を実施することができる。』を追加	
3	2	6	12	コンクリート舗装工 (下層路盤工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	12	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	12	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青)安定処理工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	12	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	12	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	12	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工 (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	12	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工 (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	12	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工 (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	12	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層 (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	12	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) (面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	6	13	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	13	薄層カラー舗装工 (上層路盤) 粒度調整路盤工	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	13	薄層カラー舗装工 (上層路盤) セメント(石灰)安定処理工	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	13	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	13	薄層カラー舗装工 (基層工)	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	15	路面切削工	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	15	路面切削工(面管理の場合) 標高較差または厚さtのみ	測定基準を修正『(路面切削工編)』を削除	
3	2	6	16	舗装打換え工	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	17	オーバレイ工	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
3	2	6	17	オーバレイ工(面管理の場合)	測定基準を修正『舗装工編多点計測技術(面管理の場合)』の削除	
3	2	7	2	路床安定処理工	測定基準を修正『表層安定処理等・固結工(中層混合処理)編』の削除	
3	2	7	4	表層安定処理工(ICT施工の場合)	測定基準を修正『表層安定処理等・固結工(中層混合処理)編』の削除	
3	2	7	9	固結工(中層混合処理)	測定基準を修正『表層安定処理等・固結工(中層混合処理)編』の削除	
3	2	10	10	地中連続壁工(柱列式)	測定基準を修正『D:杭径』を追加	
3	2	14	2	植生工(種子散布工・・・ほか)	測定基準を修正『法面工編』の削除	
3	2	14	2	植生工(植生基材吹付工・・・ほか)	測定基準を修正『法面工編』の削除	
3	2	14	3	吹付工(コンクリート)(モルタル)	測定基準を修正『法面工編』の削除	
3	2	14	4	法枠工(現場打法枠工)(現場吹付法枠工)	測定基準を修正『法面工編』の削除	
3	2	15	1	(一般事項) 場所打擁壁工	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を実施することができる。』を追加	
3	2	15	2	プレキャスト擁壁工	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を実施することができる。』を追加	
3	2	16	3	浚渫船運転工(バックホウ浚渫船)(面管理の場合)	測定基準を修正『河川浚渫工事編』の削除	
6	1	7	4	護岸付属物工	測定基準を修正『護岸工編』の削除	
7	1	6	4	海岸コンクリートブロック工	測定基準を修正『護岸工編』の削除	
7	1	6	5	コンクリート被覆工	測定基準を修正『護岸工編』の削除	

編	章	節	条	工種	改訂内容	備考
10	2	4		歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
10	2	4		歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
10	2	5	9	排水性舗装用路肩排水工	測定基準を修正『舗装工編 計測技術（断面管理の場合）』の削除	
10	3	6	8	橋台躯体工	①測定基準を修正『構造物工編（試行）』の削除 ②測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を実施することができる。』を追加 ③測定箇所を修正『図』を追加	
10	3	7	9	橋台躯体工 （張出式）（重力式）（半重力式）	①測定基準を修正『構造物工編（試行）』の削除 ②測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を実施することができる。』を追加 ③測定箇所を修正『図』を追加	
10	3	7	9	橋台躯体工 （ラーメン式）	①測定基準を修正『構造物工編（試行）』の削除 ②測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を実施することができる。』を追加 ③測定箇所を修正『図』を追加	
10	4	5	10	支承工（鋼製支承）	可動支承の移動可能量の設計移動量『+10』を削除	
10	4	5	10	支承工（ゴム支承）	可動支承の移動可能量の設計移動量『+10』を削除	
10	6	4	3	吹付工	測定基準を修正『・同解説』の追加	
10	6	5	3	覆工コンクリート工	測定基準を修正『計測手法については…出来形計測性能を有する機器を用いることが出来る。』を追加	
10	14	4	5	切削オーバーレイ工	測定基準を修正『3次元化計測技術…管理方法を用いることができる。』を追加	
10	14	4	5	切削オーバーレイ工（面管理の場合） 厚さ t または標高較差（切削）のみ	測定基準を修正『1. 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）に基づき出来形管理を実施する場合に適用する。』を追加	

3. 品質管理基準及び規格値 主な改正点

工種	種別	試験区分	試験項目	改訂内容	備考	
1 セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く)	材料	その他	骨材のふるい分け試験	試験方法 JIS A 5011-1~4をJIS A 5011-1~5に変更		
			骨材の密度及び吸水率試験	①試験方法にJIS A 5011-1~4をJIS A 5011-1~5に変更 ②適用欄にJIS A 5011-5(コンク・・・スラグ骨材)を追加		
			ポルトランドセメントの化学分析	試験項目のポルトランドセメントをセメントに変更		
			セメントの水和熱測定	新規追加		
			セメントの蛍光X線分析方法	新規追加		
	施工	必須	塩化物総量規制	試験方法に『仕様書』を追加		
	施工後試験	必須	ひび割れ調査	「ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により施工完了時のひび割れ状況を調査する場合は、ひび割れ調査の記録を同要領(案)で定める写真の提出で代替することができる。」を追加		
施工後試験	必須	テストハンマーによる強度推定調査	試験時期・頻度の内容を変更			
4 プレキャストコンクリート製品(その他)	材料	必須	コンクリートの塩化物総量規制	試験方法に『仕様書』を追加		
			必須	骨材の微粒分量試験	規格値・試験基準の内容を変更	
			その他	骨材のふるい分け試験(粒度・粗粒率)	試験方法 JIS A 5011-1~4をJIS A 5011-1~5に変更	
				骨材の密度及び吸水率試験	①試験方法にJIS A 5011-1~4をJIS A 5011-1~5に変更 ②適用欄にJIS A 5011-5(コンク・・・スラグ骨材)を追加	
その他	コンクリート用混和材・化学混和剤	試験基準の内容変更				
5 ガス圧接	施工前試験	必須	外観検査	試験方法・試験基準を追加		
	施工前試験	必須	超音波探傷検査	規格値の内容変更		
7 基礎工	施行	必須	支持層の確認	新規追加		
8 場所杭工	施行	必須	孔底沈殿物の管理	新規追加		
9 既製杭工(中掘り杭工コンクリート打設方式)	施行	必須	孔底処理	新規追加		
10 下層路盤	材料	必須	鉄鋼スラグの水浸膨張性試験	規格値の変更		

工種	種別	試験区分	試験項目	改訂内容	備考
14 アスファルト舗装	施行	必須	フィラーの粒度試験	試験項目に『(舗装用石灰石粉)』を追加	
			フィラーの水分試験	試験項目に『(舗装用石灰石粉)』を追加	
	舗設現場		温度測定(初転圧前)	規格値に『※ただし、混合物の種類によって敷き均しが困難な場合や、中温化技術により施工性を改善した混合物を使用する場合、締固め効果の高いローラを使用する場合などは、所定の締固め度が得られる範囲で、適切な温度を設定』を追加	
16 グースアスファルト舗装	材料	必須	フィラーの粒度試験	試験項目に『(舗装用石灰石粉)』を追加	
			フィラーの水分試験	試験項目に『(舗装用石灰石粉)』を追加	
22 吹付工	材料	その他	骨材のふるい分け試験	試験方法 JIS A 5011-1~4をJIS A 5011-1~5に変更	
			骨材の密度及び吸水率試験	①試験方法にJIS A 5011-1~4をJIS A 5011-1~5に変更 ②摘要欄にJIS A 5011-5(コンク・・・スラグ骨材)を追加	
	施工		塩化物総量規制	試験方法に『仕様書』を追加	
23 現場吹付法砕工	材料	その他	骨材のふるい分け試験	試験方法 JIS A 5011-1~4をJIS A 5011-1~5に変更	
			骨材の密度及び吸水率試験	①試験方法にJIS A 5011-1~4をJIS A 5011-1~5に変更 ②適用欄にJIS A 5011-5(コンク・・・スラグ骨材)を追加	
	施工	その他	塩化物総量規制	試験方法に『仕様書』を追加	
29 コンクリートダム	材料	その他	骨材の密度及び吸水率試験	①試験方法にJIS A 5011-1~4をJIS A 5011-1~5に変更 ②摘要欄にJIS A 5011-5(コンク・・・スラグ骨材)を追加	
			施工	必須	塩化物総量規制
	施工	その他	コンクリートのフリージング試験	試験項目のフリージング試験をフリーディング試験に変更	
30 覆工コンクリート(NATM)	材料	その他	骨材のふるい分け試験	試験方法 JIS A 5011-1~4をJIS A 5011-1~5に変更	
			骨材の密度及び吸水率試験	①試験方法にJIS A 5011-1~4をJIS A 5011-1~5に変更 ②摘要欄にJIS A 5011-5(コンク・・・スラグ骨材)を追加	
	施工	必須	塩化物総量規制	試験方法に『仕様書』を追加	
	施工後試験	必須	テストハンマーによる強度推定調査	規格値に『トンネルは1打設部分を単位とし、各単位につき3ヶ所の調査を実施する。また、調査の結果、平均値が設計基準強度を下回った場合と、1回の試験結果が設計基準強度の85%以下となった場合は、その箇所の周辺において、再調査を5ヶ所実施。材齢28日~91日の間に試験を行う。』を追加。	
31 吹付けコンクリート(NATM)	施工	必須	塩化物総量規制	試験方法に『仕様書』を追加	
35 排水性舗装工・透水性舗装工	材料	必須	フィラーの粒度試験	試験項目に『(舗装用石灰石粉)』を追加	
			フィラーの水分試験	試験項目に『(舗装用石灰石粉)』を追加	
41 鉄筋挿入工	施行	必須	引き抜き試験	試験項目に『(受入れ試験)』を追加	
	施行	必須	引き抜き試験	試験項目に『(適合性試験)』を追加	

4. 写真管理基準(案) 主な改正点

改定箇所	条	枝番	改定内容	備考
●写真管理基準(案)				
(工事写真の整理方法)	10	(1)	「また、参考資料として…」の記載を削除	
(その他)	12.	(1)	「不要とは…」の記載を削除	
	12.	(3)	「代表箇所とは…」の記載を削除	

●出来高管理

工種	編	章	節	条	工種	改訂内容	備考
第1編 共通編	1	2	3	2	掘削工	「土工編」の削除	
	1	2	3	3	盛土工	「土工編 多点計測技術(面管理の場合)」の削除	
	1	2	4	2	掘削工	「土工編 多点計測技術(面管理の場合)」の削除	
	1	2	4	3.4	路体盛土工 路床盛土工	「土工編 多点計測技術(面管理の場合)」の削除 「空中写真測量(UAV)および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を 納品する場合には、写真管理に代えることができるへ変更	

●出来高管理

工種	編	章	節	条	工種	改訂内容	備考
第3編 土木工事共通編	3	2	6	7	アスファルト舗装工 (下層路盤工) (上層路盤工) (加熱アスファルト安定処理工)	「舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」を削除	
	3	2	6	8	半たわみ性舗装工 (下層路盤工) (上層路盤工) (加熱アスファルト安定処理工)	「舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」を削除	
	3	2	6	9	排水性舗装工 (下層路盤工) (上層路盤工) (加熱アスファルト安定処理工)	「舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」を削除	
	3	2	6	10	透水性舗装工(路盤工)	「舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」を削除	
	3	2	6	11	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	「舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」を削除	
	3	2	6	12	コンクリート舗装工 (下層路盤工) (粒度調整路盤工) (セメント(石灰・瀝青)安定処理工) (アスファルト中間層)工(コンクリート舗装版工) (転圧コンクリート版工) (連続鉄筋コンクリート舗装工)	「舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」を削除	
	3	2	6	13	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) (加熱アスファルト安定処理工) (基層工)	「舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」を削除	
	3	2	6	14	ブロック舗装工 (下層路盤工) (上層路盤工) (加熱アスファルト安定処理工)	「舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」を削除	
	3	2	6	15	路面切削工	「舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」を削除	
	3	2	7	9	固結工 (中層混合処理)	「表層安定処理等・固結工(中層混合処理)編」を削除	
3	2	14	4	法枠工	「法面工編」を削除		

●出来高管理

工種	編	章	節	条	工種	改訂内容	備考
第10編 道路編	10	3	6	8	橋台躯体工	「構造物工編(試行)」を削除	
	10	3	6	9	橋台躯体工(張出式)	「構造物工編(試行)」を削除	
	10	3	6	9	橋台躯体工(ラーメン式)	「構造物工編(試行)」を削除	

5. RI計器を用いた盛土の締固め管理要領(案)
変更なし

6. ロックボルトの引抜試験
変更なし

7. 塗膜厚の評価基準(案)
変更なし

[3]コンクリート関係基準

変更なし

[4]プレキャスト製品の確認要領

変更なし

[5]保安施設設置基準

変更なし

[6]建設副産物関係

変更なし

[7]建設工事に伴う騒音振動対策技術指針

変更なし

[8]施工表示板設置要領及び官民境界線杭の設置要領

変更なし

[9]舗装路面のすべり抵抗測定法

変更なし

[10]土工用水砕スラグの施工管理要領

変更なし

[11]薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針

変更なし

[12]舗装路面の平坦性測定方法

変更なし

[13]土木工事安全施工技術指針

変更なし

[14]建設工事公衆災害防止対策要綱

変更なし

[15]微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領

平成24年3月→平成30年10月に変更

[16]非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領

平成24年3月→平成30年10月に変更

[17]超音波パルス反射法によるアンカーボルト長さ測定要領(案)

変更なし

3 電気通信設備工事編

変更なし